

平成25年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業  
浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム普及事業



J A P A N E S E  
E D U C A T I O N  
S Y M P O S I U M

日本語教育シンポジウム

# 生活者としての外国人に 必要な日本語とは

～日本語コミュニケーション能力評価の可能性～

## 2014年3月2日(日)

### 浜松市地域情報センター ホール

(浜松市中区中央1丁目12番7号)

対象: 地域日本語教育に関わる実践者・行政担当者・企業関係者等

定員: 160名(先着順)

参加費: 不要

#### スケジュール

- 11:00 開会
- 11:05～12:00 事例発表「見える評価で変わる! 日本語教室」
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～15:00 パネルディスカッション  
テーマ「生活者としての外国人に必要な日本語とは」
- 15:05 閉会
- 16:00～17:00 浜松市多文化共生センター見学ツアー(希望者)

#### オプションコース

希望者には、浜松市外国人学習支援センターをご案内いたします。

3月3日(月) 10:30～12:00 「浜松市外国人学習支援センター見学ツアー」

10:02 JR浜松駅発 → 10:12 JR舞阪駅着 → 10:20 舞阪駅発(遠鉄バス) → 10:25 雄踏中学入口着



JR浜松駅徒歩10分 遠州鉄道西鹿島線電車「遠州病院前」下車、徒歩2分

# J A P A N E S E E D U C A T I O N S Y M P O S I U M

「生活者としての外国人」という言葉が使われ始めたのは、1990年(平成2年)に入管法が改正されて在住外国人が急増してからずいぶん経った2006年(平成18年)頃からです。これは、外国人を一時的な滞在者ではなく生活者として捉えて施策展開する必要性が生じたことによるものです。その後、リーマンショックの影響を受け、浜松市では、2008年(平成20年)の約3万人をピークに、在住外国人数は減少していますが、家の購入や子どもの成長にともない、定住化・永住化は着実に進んでいます。そのような状況の中、外国人が家族と安定した生活を送るために必要な日本語能力とは何でしょうか。そしてそのための日本語教育支援とはどうあるべきでしょうか。外国人集住都市・浜松における「生活者としての外国人」に必要な日本語について改めて考えます。



## 事例発表

### “見える評価で変わる! 日本語教室”

浜松版日本語コミュニケーション能力判定の活用事例を中心に発表を行います。また評価が明示化されたことにより、外国人市民に必要な日本語教育プログラムを改善する仕組み(U-ToC評価システム)が構築された事例もあわせて紹介します。

#### ●発表者

松葉 優子氏 (With U-Net、浜松学院大学非常勤講師)  
 松本 三知代氏 (With U-Net、一般財団法人日本国際協力センター日本語講師)

## パネルディスカッション

### “生活者としての外国人に必要な日本語能力とは”

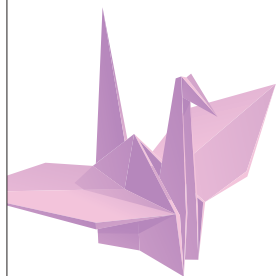
外国人集住都市・浜松において、外国人市民が社会参加するために必要な日本語能力とは何か、行政・就労関係者・当事者・日本語教師のそれぞれの立場から議論を深め、外国人市民との真の共生について考えます。

#### ●コーディネーター

嶋田 和子氏 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)

#### ●パネリスト

石塚 良明氏 (浜松市企画部国際課課長)  
 内記 裕之氏 (ハローワーク浜松外国人労働者専門官)  
 松葉 優子氏 (With U-Net、浜松学院大学非常勤講師)  
 柳澤 クリスティーナ氏 (セメンチ・パラ・オ・フトゥーロ(ブラジル人保護者の会))  
 吉田 清氏 (一般財団法人日本国際協力センター 研修事業部特任主幹)



お問い合わせ 公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)

浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階 TEL.053-458-2170/FAX.053-458-2197

www.hi-hice.jp

## 日本語教育シンポジウム 参加申込書

「生活者としての外国人に必要な日本語とは ～日本語コミュニケーション能力評価の可能性～」

ふりがな		ふりがな	
氏名		所属団体	
オプション ツアー	希望する方は <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 <input type="checkbox"/> [浜松市多文化共生センター] 見学ツアー希望 <input type="checkbox"/> [浜松市外国人学習支援センター] 見学ツアー希望		
住所	〒      -      - 電話番号(      -      -      )      メールアドレス(      )		

申込書はHICEホームページ(www.hi-hice.jp)からダウンロードできます。

お申し込み先 (浜松市外国人学習支援センター 宛)

FAX

053-592-1179

MAIL

u-toc\_info@hi-hice.jp